
PC・ネットワークの管理・活用を考える会 大会 2026

AI前提組織への転換

生成AI活用から、
AIエージェントと協働する仕事・組織・情シスへ

資料公開版

※当日の講演資料より一部抜粋・改版

SPEAKER

朝比奈 ゆり子

DATE

2026.7.3

PROFILE



朝比奈 ゆり子

YURIKO ASAHINA

パーソルクロステクノロジー株式会社 アドバイザー
/ 元 パーソルテンプスタッフ株式会社 CIO

一般社団法人 Women AI Initiative Japan
有識者アドバイザー

自身にプログラミングセンスが無いことを自覚してからは、
エンジニアをリスペクトし、応援する側に。

Wine Lover

CAREER

- 01 外資系プロジェクトマネジメント
ソリューションベンダー
プロダクト開発と導入を中心に担当
- 02 外資系ITセキュリティ会社 2社
コーポレートIT部門のリーダーシップを執る
- 03 パーソルグループでデジタル変革推進
パーソルキャリア
パーソルイノベーション
パーソルホールディングス
パーソルテンプスタッフ 執行役員 CIO

AWARDS & RECOGNITION

2024年度（第42回）IT賞（マネジメント領域）
第9回 HRテクノロジー大賞 人的資本経営部門 優秀賞
JAPAN HR DX AWARDS 2024 特別賞 / **DX銘柄 2026 選定**

01

CHAPTER

AIの現在地

本章では、AIがいま「何ができるか」を確認したうえで、
その仕組みを大規模言語モデルとエージェントの観点で整理します。

AIはもう、テキストを返すだけではない

マルチモーダル×エージェント×多様な生成 — AIは「読む・考える・表現する」3つの軸で進化している。



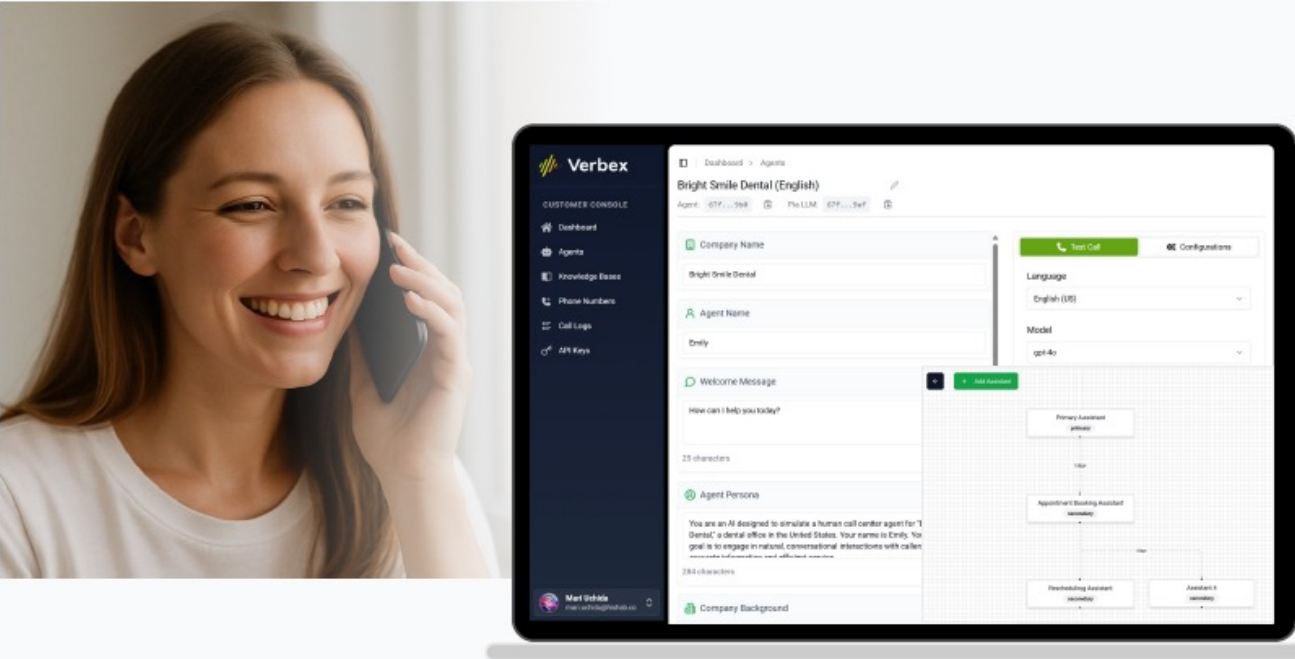
✦ マルチモーダル × エージェント × 多様な生成 ✦

「単発の回答」を超えて、目と耳と手を持ったAIへ — 現在地は、すでにここ。

<https://jp.verbex.ai/>



人间的ように話し、働く。Voice AIエージェントVerbex



- **自然な会話**
全て自社開発のAIモジュールで低レイテンシーを実現。
質問を含めた自然な会話を設計可能。
- **誰でも作れるAIエージェント**
誰でも簡単に、設定できる操作画面。
会話フローの設計で、大枠の流れがありつつ自由度の高い自然な会話が可能に。
- **24時間365日 安定した対応**
深夜・ピーク時間問わず安定した対応可能。

ユースケース

予約受付

問合せ対応

アンケート・調査

営業アウトバウンドコール

一次受付

督促・支払い確認

クレーム対応

空き状況案内

定期フォローコール

© 2026 Verbex

<https://www.figure.ai/>

フルサイズのキッチンで4分間、61の動作を連続で実行し、食洗機の開閉、食器の搬送、収納、再装填までを人の介入無しでこなした

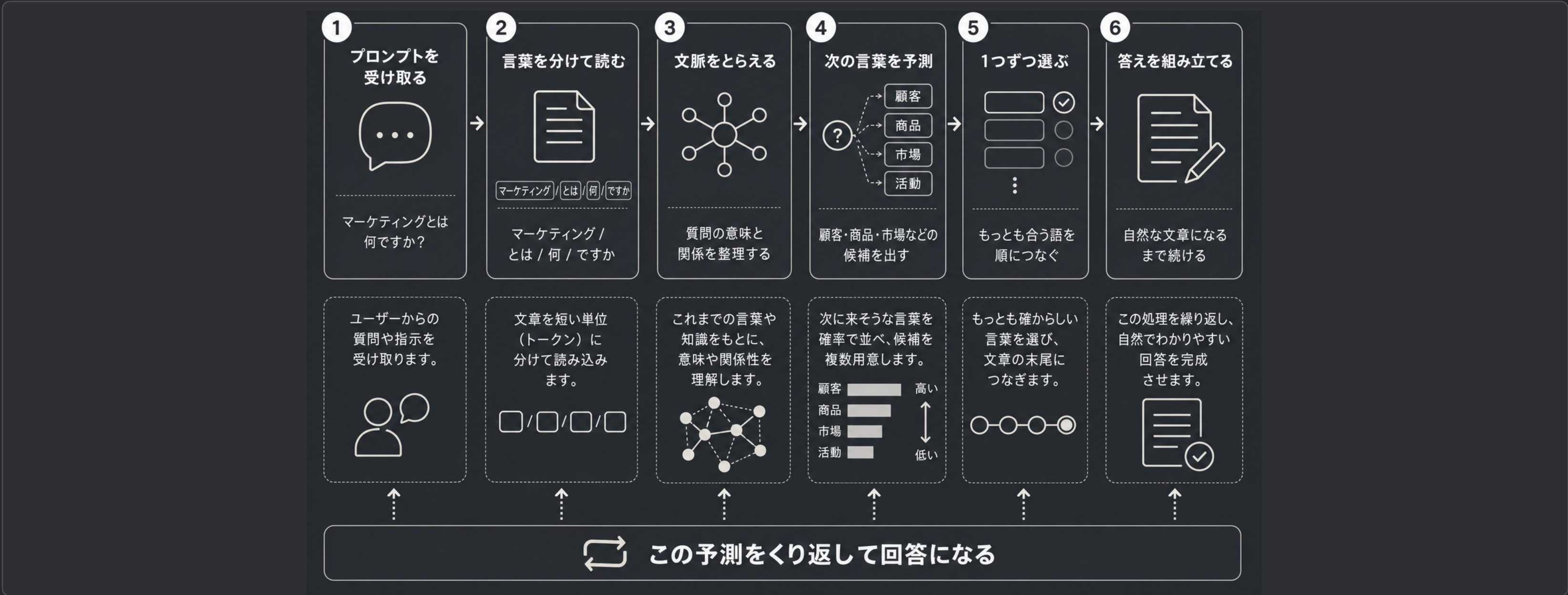


January 27, 2026

Introducing Helix 02: Full-Body Autonomy

おさらい：大規模言語モデル（LLM）は「予測する」モデル

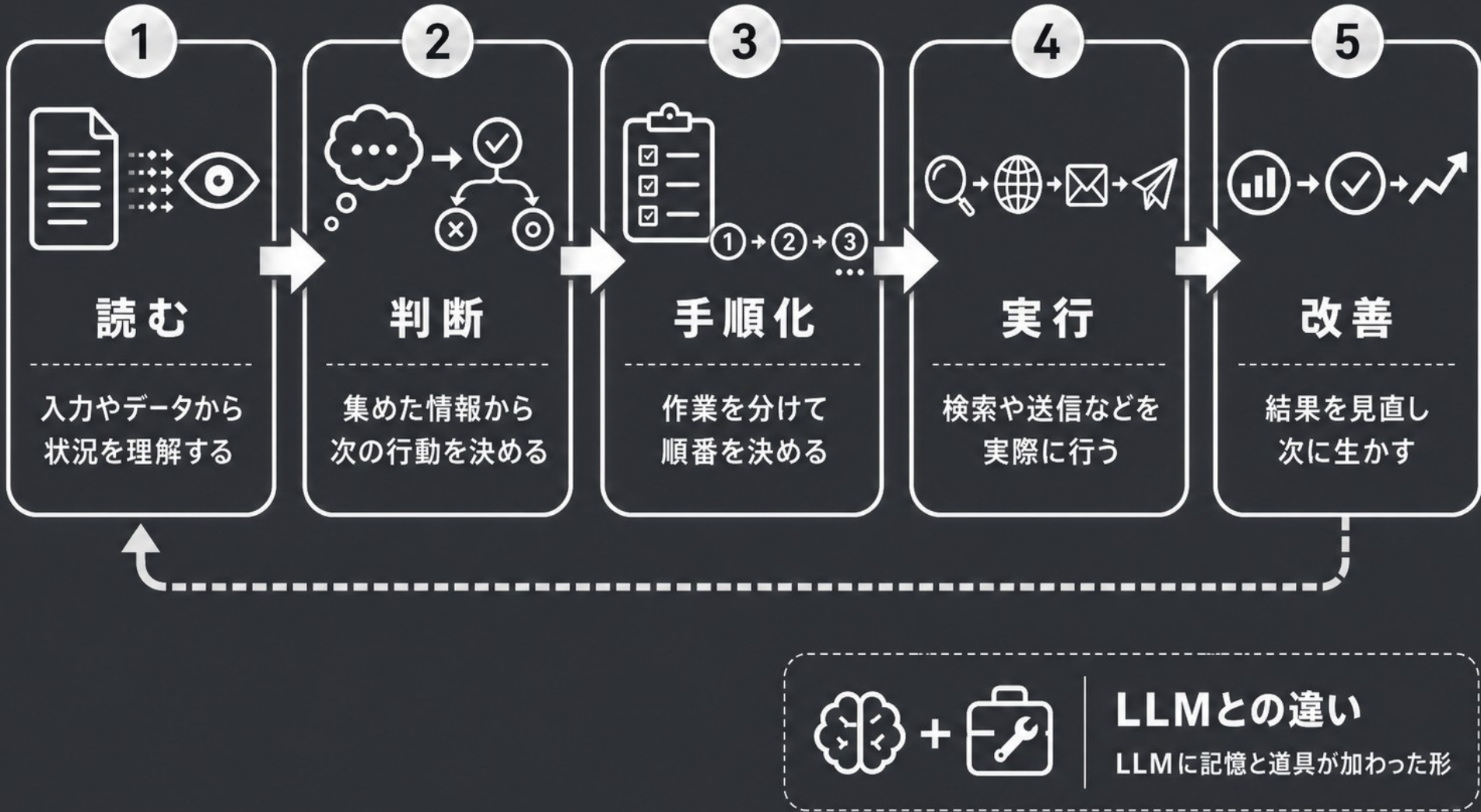
AIは前の文脈をもとに、確率の高い言葉を一語ずつ選び続ける — 一文ではなく、一語の積み上げ。



答えを「知っている」のではなく、確率の高い続きを「組み立てている」 — だから流暢に間違える。

おさらい：AIエージェントのしくみ

LLMに「記憶」と「道具」が加わると、AIは「読む → 判断 → 手順化 → 実行 → 改善」を自走できる。



エージェントは「単発の回答」ではなく「一連の業務」を担う — 設計の単位はタスクではなくループ。

パーソルでの取り組み

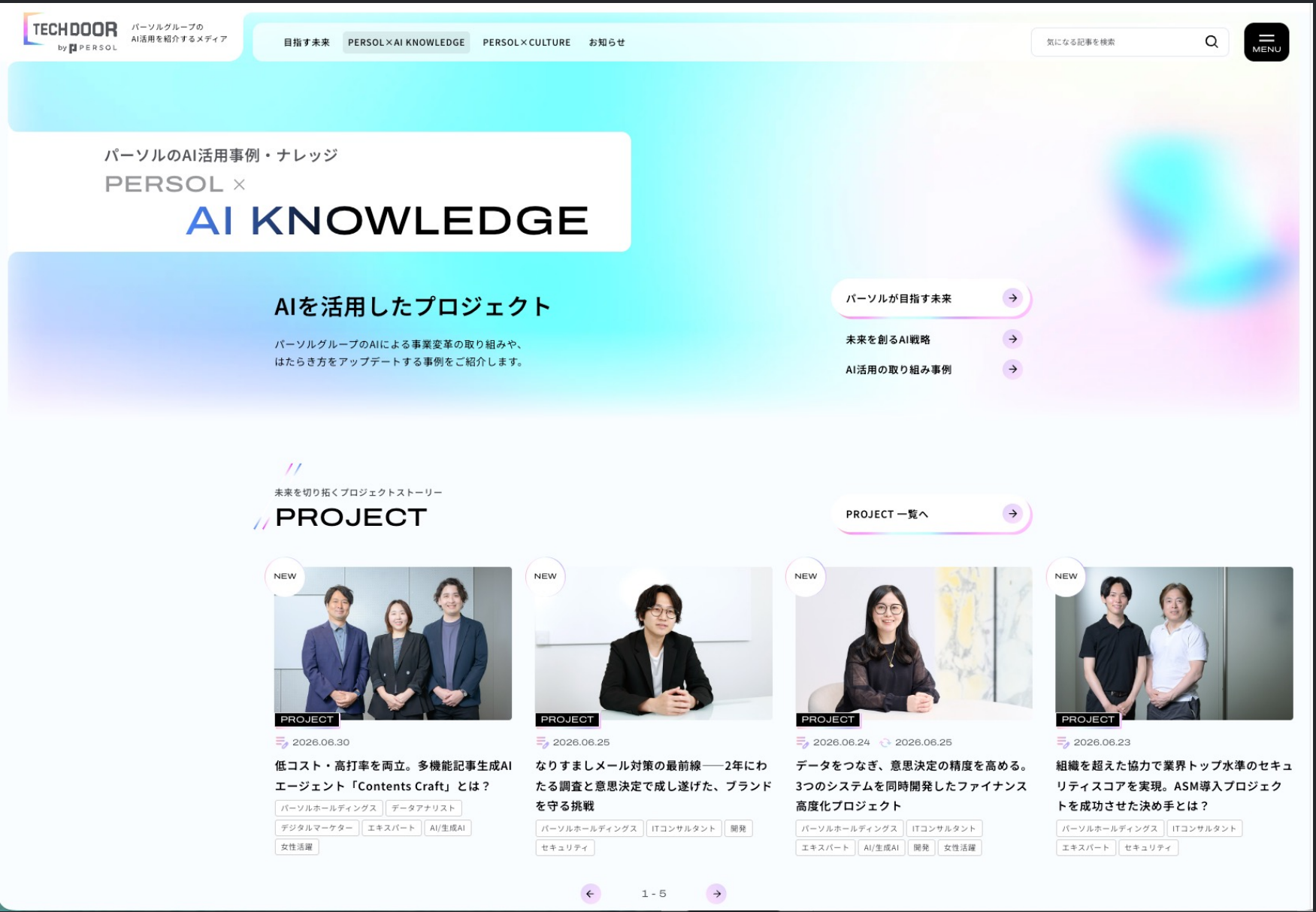
02

CHAPTER

パーソルでの取り組み

本章では、パーソルグループでの実例をピックアップしてご紹介します。

<https://techdoor.persol-group.co.jp/ai-knowledge/>



<https://mag.executive.itmedia.co.jp/executive/articles/2512/16/news013.html>

03

CHAPTER

AI前提組織への転換

本章では、生成AIの発展トレンドを踏まえ、
「AIを前提にした組織」をどう設計するかを順に整理します。

生成AIの発展トレンド

2026年以降の生成AIトレンドは大きく3つの軸で整理できる。



① エージェント化 — AIの位置付けの変化 — 行動する主体へ

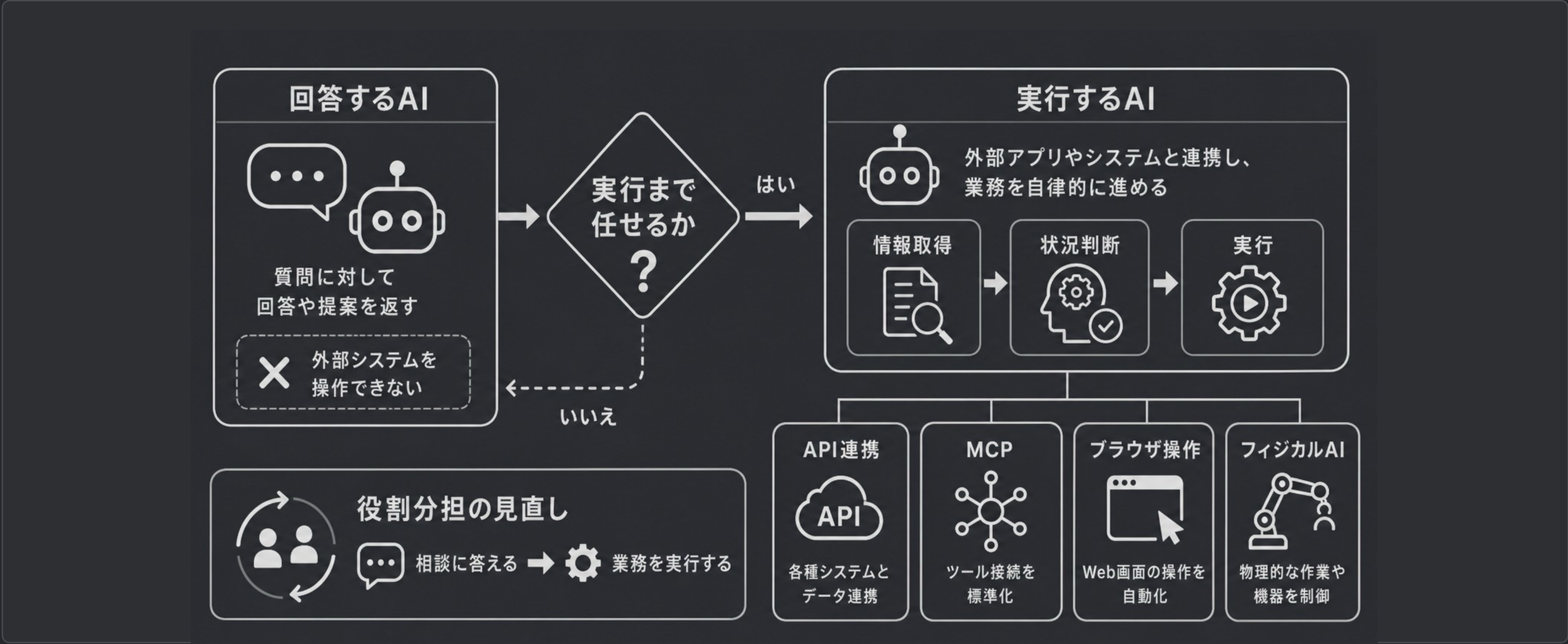
AIは「反応する存在」から「自律する存在」へ。



自律性を1段上げるごとに、設計の単位は「タスク」から「目的」へ、責任の所在は「個人」から「組織」へ移る。

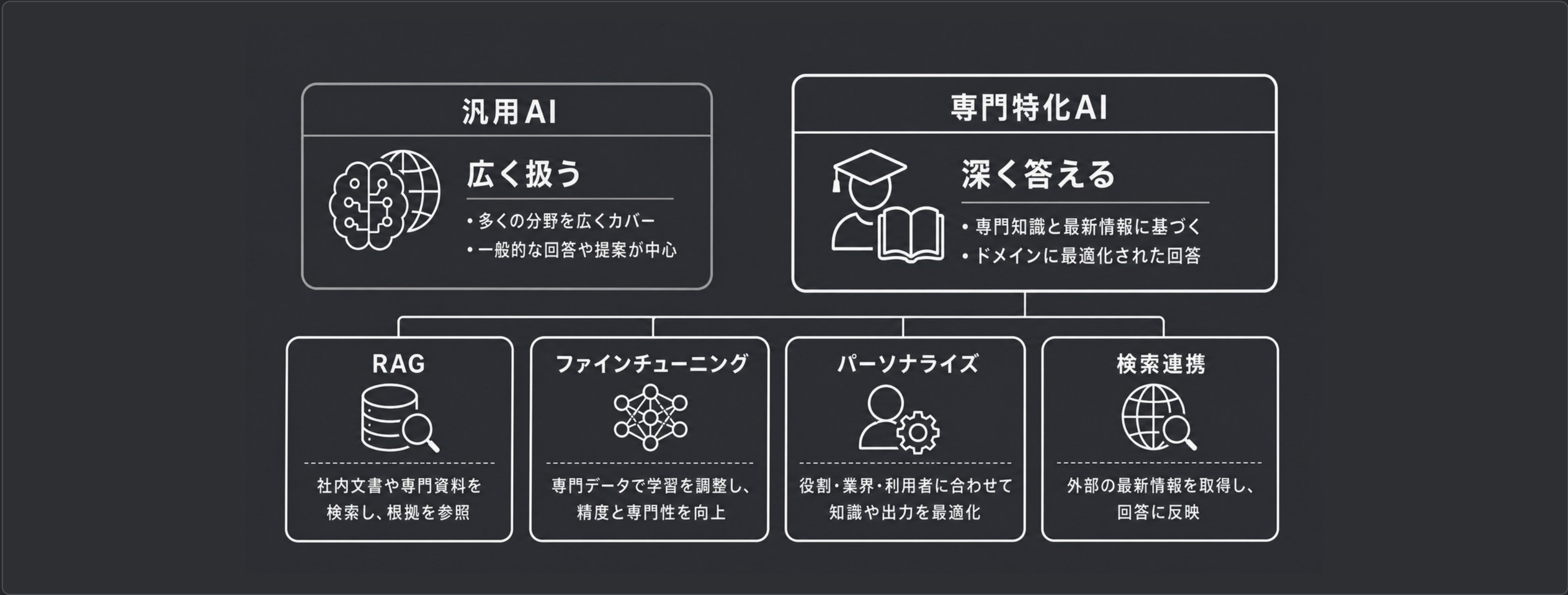
① エージェント化 — AIを「実行できる」ようにする

AIの役割は「相談に応えること」から「業務を実行すること」へと広がった。



② ドメイン特化 — AIを「専門家」にする

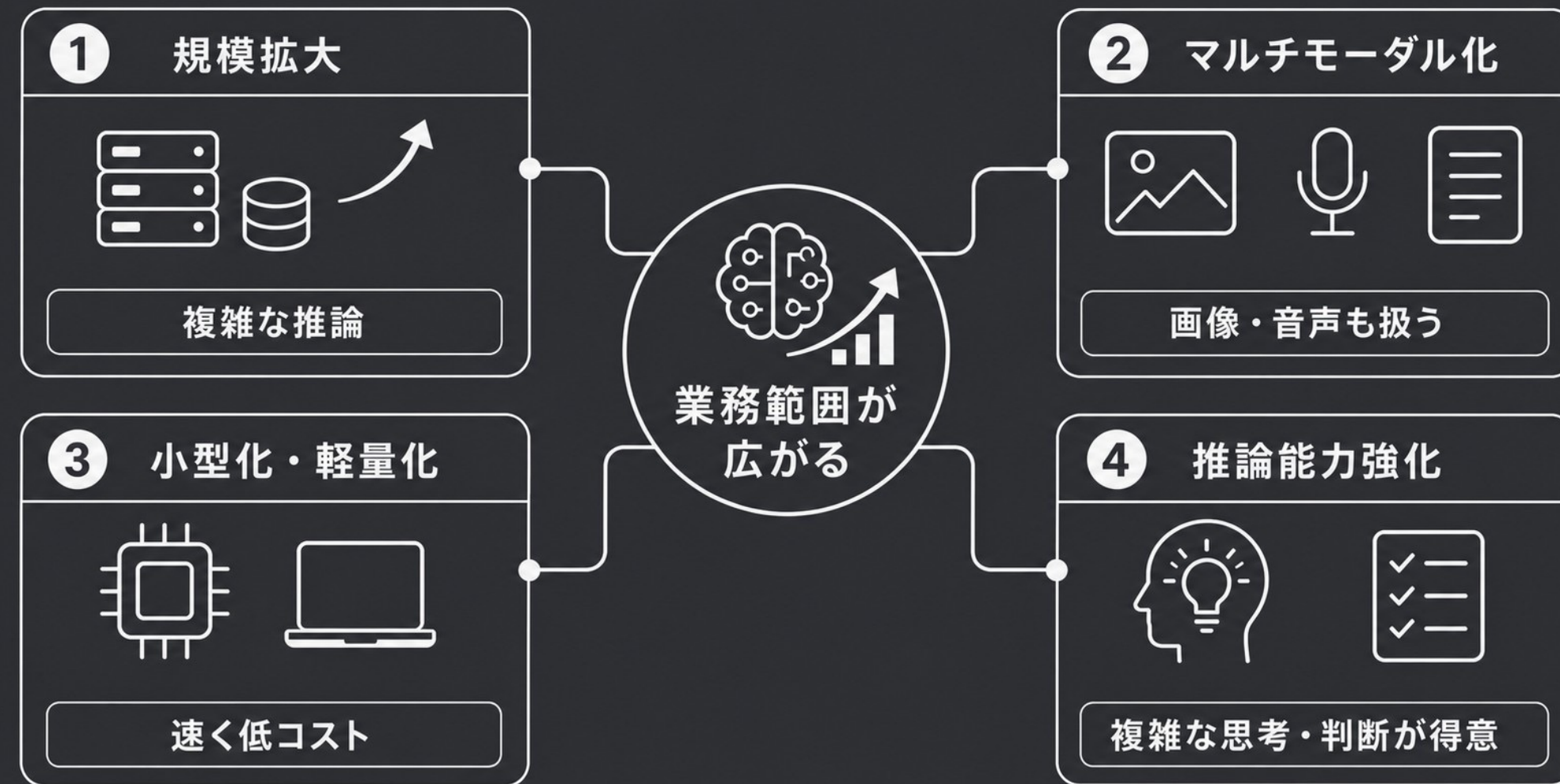
汎用AIだけでは限界がある。ドメイン特化＝AIに専門家としての深さを持たせることが必要。



どの領域で専門性を高めたAIが必要になるかを整理し、特化の対象を見極めることが必要。

③ モデル強化 — AIの基礎能力を上げる

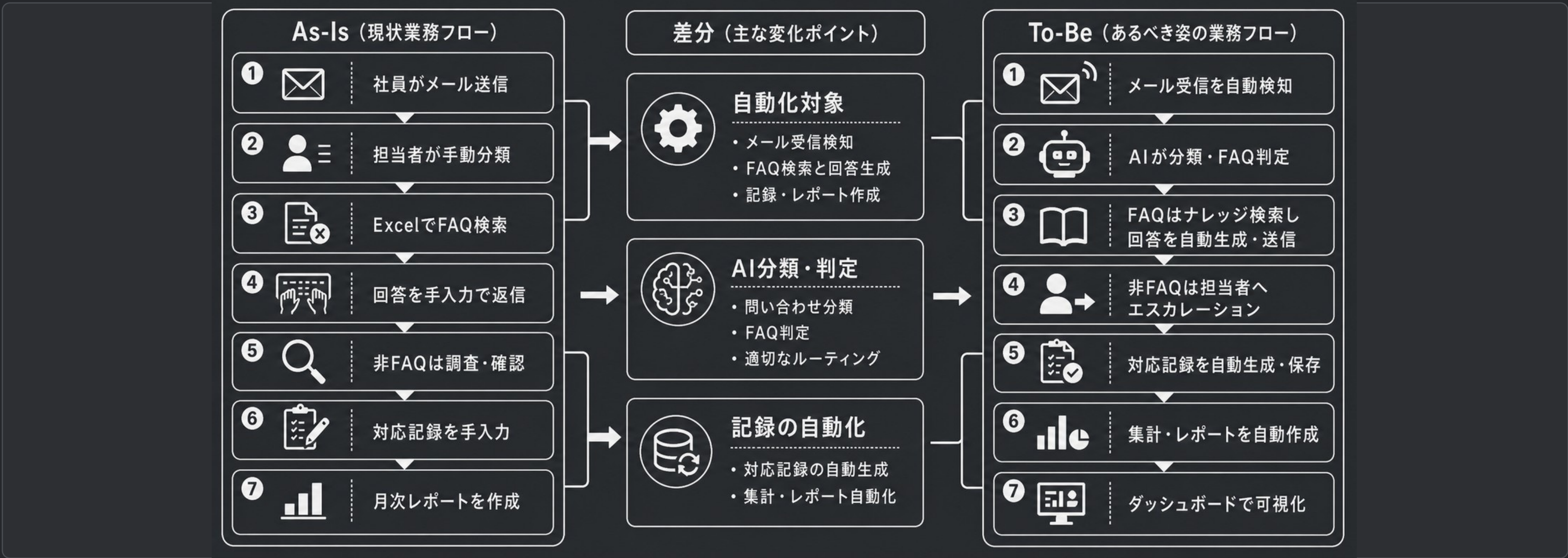
エージェント化やドメイン特化を進めるためには、AIモデルそのものも性能向上が前提となる。



これらの変化によって、AIエージェントに任せられる業務の範囲が広がる。
「現時点でできること」だけで判断せず、今後の性能向上も踏まえて導入や活用の方方向性を考える必要がある。

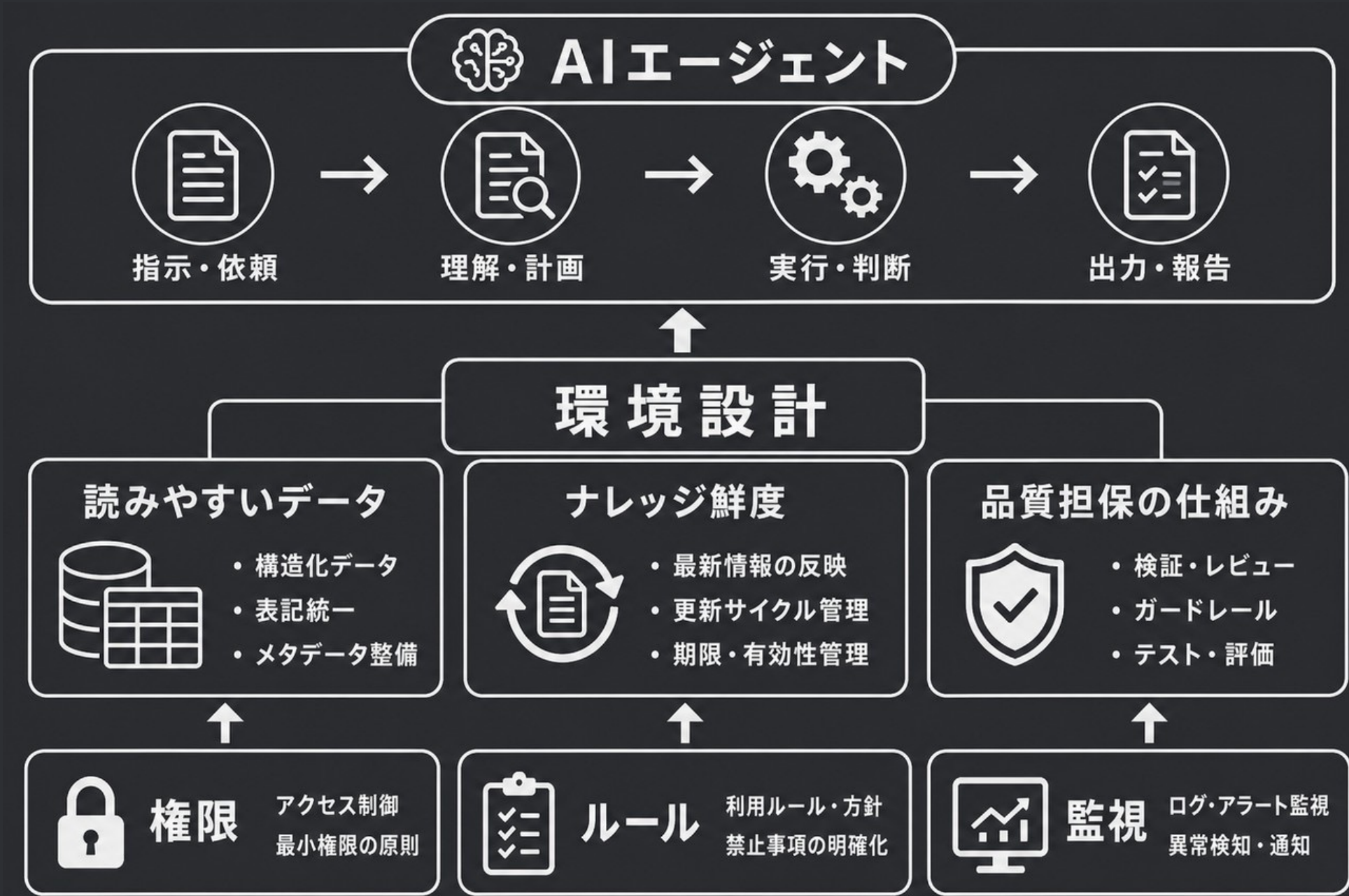
AI前提のBPR — ヘルプデスク業務の As-Is / To-Be 分析の例

既存の業務をそのままにしてAIを足しても効果は出ない。
AI前提で業務プロセスそのものを描き直すことが必要。



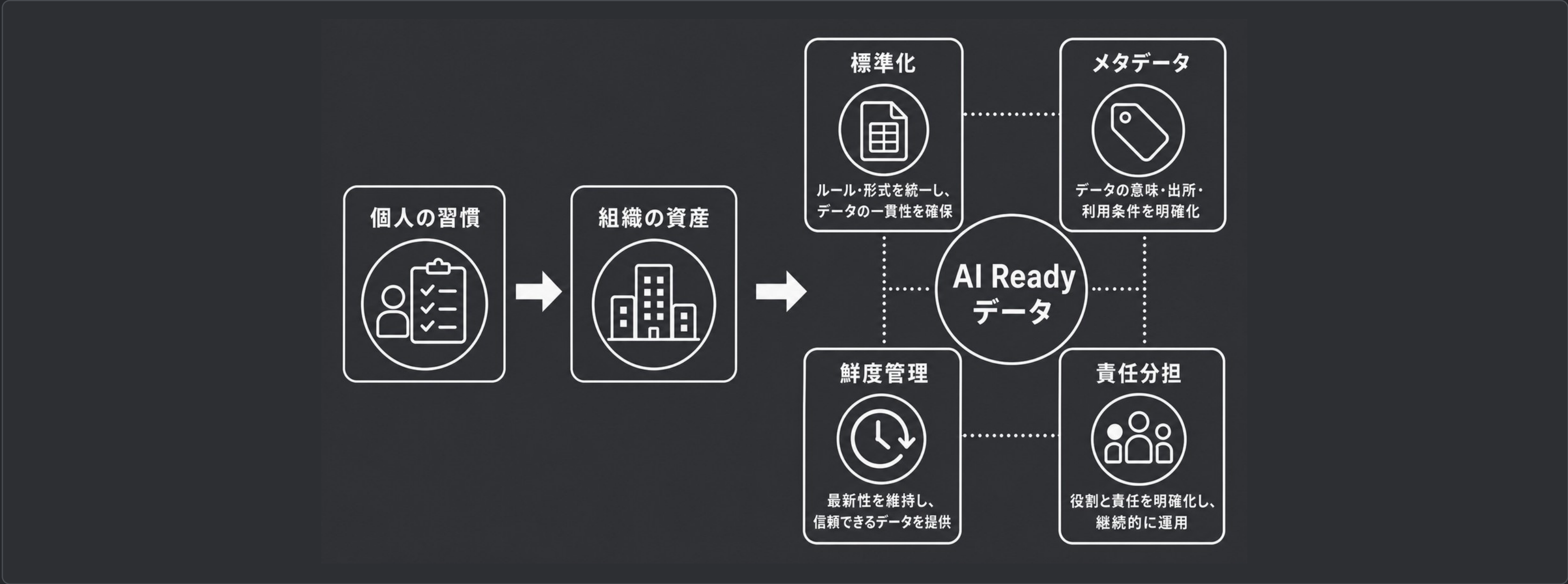
プロセスを End-to-End で見るのが重要。AIのスピードに対し、人が介在する工程がボトルネックになり効果が消えることがある。

「AIエージェントが動く環境」を設計するという発想



AI Ready データ

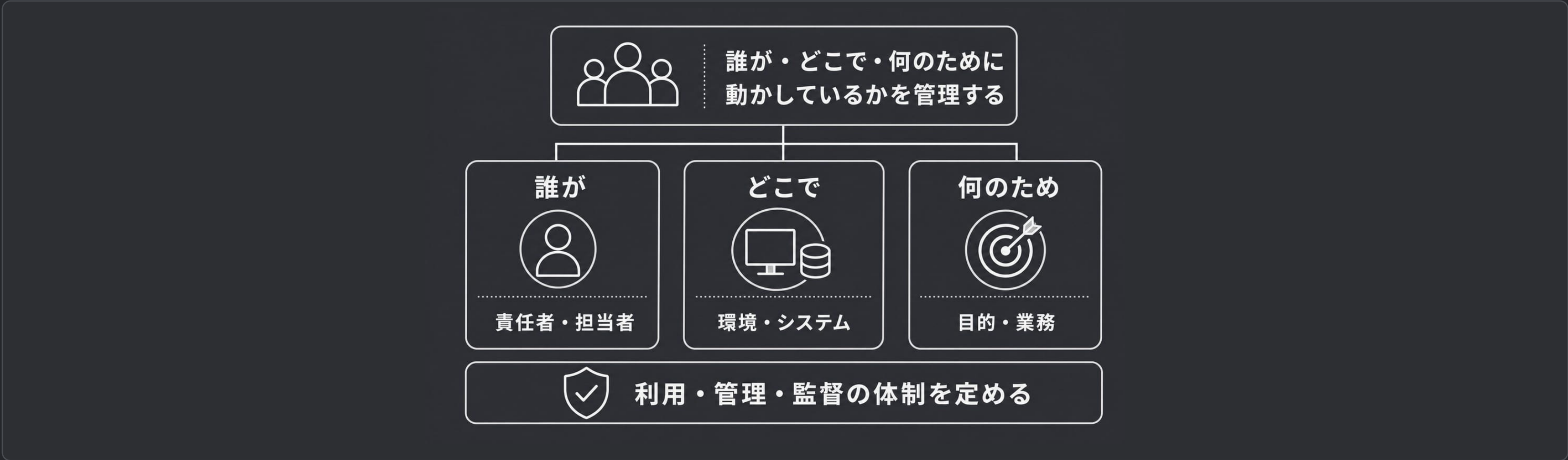
AIエージェントの導入を組織として成功させるには、データを「組織の資産」として戦略的に整備する視点が必要。



AIの答えは、AIに渡すデータの質で決まる。データ構造そのものを整え、AIが「読める」データを作る。

AIガバナンス

AIガバナンスとは、組織としてAIをどのように利用・管理・監督するかを定めた体制・ルール・プロセスの総称。
AIエージェントの自律性が高まるほど、ガバナンスに重みが出る。
法務・知財－入力データと生成物の権利関係も大切。



AIポリシー＝「何を許可し、何を禁止するか」、利用ガイドライン＝日常の行動を定義することが必要。
常に、対外的に説明責任を果たせる状態であることが必要。
AIを使い始めてから整えるでは遅い。使い始める前に、使う目的・使って良い範囲・止め方を決めておくことが肝要。

AI時代の組織・人材・仕事の再設計

AIを前提にすると、組織・人材・仕事のすべてが少しずつ別の形に変わる — 同時に動かす3つの再設計。

ORGANIZATION	TALENT	WORK
組織 BEFORE 機能別の縦割り、 部分最適の積み上げ。 AFTER 業務（E2E）単位の 横断チーム。 情シスは「守りの部署」から 「業務とAIを繋ぐ設計部署」へ。	人材 BEFORE タスクをこなす人。 手順を覚える人。 AFTER 目的を定義し、 AIと協働する人。 判断・例外対応・関係構築・ 倫理判断 — 人の領域は残る、形が変わる。	仕事 BEFORE 手順を分解して 人に割り当てる。 AFTER 目的と制約を渡し、 AIに業務を委ねる。 人は「設計者」と「判断者」に。 仕事の単位は手順ではなくループ。

どれか1つだけ動かしても効かない — 組織・人材・仕事の3つを、同じスピードで再設計する。

WHAT TO DO NEXT

明日から、3つのこと。

PoCの数を増やすより、「先に決めておく」と「End-to-Endで回す」から始める。

01 GOVERN FIRST

ガバナンスを
先に置く。

使い始める前に、
目的・使って良い範囲・止め方を
ポリシーとガイドラインで決める。

02 REDESIGN END-TO-END

業務を
End-to-Endで描き直す。

AIの速度に対し、人の工程がボトルネックに。
AS-IS / TO-BE を一気通貫で描き直す。

03 MAKE DATA AN ASSET

データを
「組織の資産」にする。

優先度の高い業務のデータから、
標準化・メタデータ・鮮度・責任を整える。

Thank you.

朝比奈 ゆり子

2026.7.3

AI TOOLS USED IN THIS DECK

スライド作成 **Genspark** | 図表生成 **GPT Image 2** | 動画生成 **Kling V3**
音楽生成 **Mureka Song Generator** | 動画編集 **FFmpeg**

REFERENCES

AICX協会「AIエージェントストラテジスト資格 公式テキスト」aicx.jp/certifications/strategist